

第64回全日本教職員バドミントン選手権大会レフェリー報告書

レフェリー 貴田 昌史

第64回全日本教職員バドミントン選手権大会がR7年8月13日～17日の5日間岡山県岡山市総合文化体育館で開催されました。全国各地から多くの選手が参加され各種目において熱戦が繰り広げられました。今回全体を通して大きな混乱もなく、予定通りの日程で全競技が終了致しました。

はじめに今回の研修会で講演として、BWF国際審判員、2024パリオリンピックアンパイア、坂本恵美様の講義が行われ、研修会の演題「パリオリンピックへの道のり」競技審判員として話されました。多くの経験と実積を話され感銘を受けられていました。今回審判員としてもご参加いただき審判団や大会役員などからも注目されておられました。

大会前日の代表者会議の中で8月11日の熊本県豪雨災害で被災された選手の方がおられるとのことで会場到着が14日朝一番になるかもしれませんと話があり、大会委員長とも相談の上参加してこられるなら配慮することを確認し、相手チームの了承の上競技を行う事とした。今回の大会の審判が不足のため、個人戦ではマッチ終了後に敗者は線審、勝者得点係としてプレイヤーの方々にもご協力をお願い致しました。

初日の団体戦は9:00スタートでパソコントラブルがあり、20分遅れで始まりました。メイン体育館サブ体育館ともに冷房が入っており気温27度湿度53%で大会を運営出来ていた。当日は大きな怪我も事故もなく18:58分終了使用シャトル591個。

二日目ダブルス、9:00スタートでマッチは306試合、ベスト8まで流し込みで行う。

棄権が9組あり。今回の大会審判員が不足しており派遣審判員を入れても50名程で一人の審判回数が非常に多くなっていた。気温27度湿度52%。本日レフェリーコールがあり、ラケットが当たり小指からの出血の選手が1名いた。他は怪我、事故もなく20:37分終了使用シャトル984個。

三日目シングルス、9:00スタートでマッチは376試合ベスト8までは流し込みで行う。本日補助員に高校生が46名参加してくれた。良く気が付く学生が多く、名前の張替えや次の準備を手際よくこなしてくれていた。試合が進み予定数が終了することが厳しい状況となり、8:00冷房停止9:00閉館となっていたため、体育館事務所に相談して1時間延長していただいた。今回審判員の回数も前日以上となり14回を越え審判団にも疲れが見えていた。本当に感謝申し上げます。三日目終了、20:58分、使用シャトル981個。

最終日シングルス、準決勝、決勝を行う。9:00スタート、8コートにサービス高測定器を設置して進行する。試合はどのゲームも長いラリーの応酬となり1時間以上のゲームもあった。ゲーム終了時には選手への大きな拍手がおきていた。最終日終了、14:39分使用シャトル150個。

最後になりますが本大会において、非常にスムーズに運営されましたが試合数も多く、審判員が不足する場面がございました。今後は補助員、審判員の増員を検討いただければと存じます。今回レフェリーとして参加させて頂き非常に意義深い経験得ることができました。大会関係者、選手、運営スタッフの皆様のご尽力により、安全で公正な大会運営が実現されましたことに深く敬意を表し感謝申し上げます。

今後、益々のご発展とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。